

「新・やまがた農業人」紹介

(平成30年4月取材)



鈴木 澄子さん

- 【出身地】 上山市
- 【就農前の職業】 旅館業、グラフィックデザイナー
- 【就農地】 上山市
- 【就農年度】 平成30年度
(H28年4月から独立就農者
育成研修で2年間研修)
- 【経営概要】 ぶどう(デラウェア(ワイン用))25a、
さくらんぼ10a、和梨24a(来春まで
シャインマスカットに改植予定)
桃18a、野菜(多品目)10a

山形県の果物はやっぱり最高！

幼い頃から地元・上山市の美味しい米や果物を食べて育ちました。東京で生活するようになってから改めて山形の果物は本当に美味しいと感じ、食や農業への興味が高まり、農業もクリエイティブな仕事だと再評価し、就農を目指すことにしました。農の雇用事業で1年間、農業に関する色々なことを働きながら学び、農業の大変さと面白さを知り、ますます農業を一生の仕事にしたいと思いました。その後、様々な人との出会いとご縁があり、上山市の果樹農家でやまがた農業支援センターの研修を修了し就農することができました。

農業は子育てのような感じで、生き物を育てていくことが楽しく、愛おしく感じます。しかし、果樹栽培は適期作業がとても重要で、常に作物と向き合う日々です。研修中より就農してからのほうが苦勞や課題も多く、農作業以外に農業機械の扱いやメンテナンス等、何から何まで自分でしなければいけないことに責任を感じます。

今後の目標は、ずっと農業を続けること、農家で生計を立てること、そして農地等を貸していただいた方々に「貸して良かった」としてもらえるような作物を作ることです。そして最終的な夢は、農家民宿を営みより多くの人に農業体験を通し農の魅力を伝えることです。

〈これから就農を目指す人へのアドバイス〉

農業は、家族や夫婦の協力がとても大切です！周りの先輩農家さん達も、頑張っている姿を見てくれて、心配し助けてくれます。是非、人とのご縁を大切にしてください。また、初期投資等お金がとてもかかるので、就農前から少しでも資金の確保しておきましょう。

理想の農業を目指して

母親の実家が山形県の庄内地方にあり、子供の頃から美味しい米を食べて育ちました。昔から食や料理に興味はありましたが、農家になろうとは思っていませんでした。しかし、東日本大震災の食べ物がなかった時に、農家の方だけは食に困った様子がないことに気が付きました。これをきっかけに自分も農業をしよう！美味しい米が作りたい！と一大決心をしました。就農活動する中で、朝日町に移住しりんご農家となった方と出会ったことで朝日町を知り、自然環境などがとても気に入って「ここでなら、自分の目指している方法での農業が出来る！」と確信し、朝日町での就農に至りました。

まだまだお金を稼ぐのはとても大変で、物をお金に換えていくことの難しさを痛感しています。しかし、毎年新しい栽培方法にチャレンジし成果が見えるところにやりがいを感じ農業をやっていて良かったと思います。

まずは収量を安定させ自分の農業を確立していきながら、「新農業人ネットワーク山形」を通じ「新規就農者は新規就農者が育てる」をポリシーに、少しずつでも確実に農業者を増やしていきたいです。

〈これから就農を目指す人へのアドバイス〉

諸先輩(身近で年代に近い)にたくさん話を聞くことが大切です。自分から行動し、様々な人と仲良くなることを頑張ってみてください。きっとその先に繋がるはずですよ。

丸山 祐輝さん

- 【出身地】 宮城県仙台市
- 【就農前の職業】 会社員
- 【就農地】 朝日町
- 【就農年度】 平成27年度
(H26年4月から独立就農者
育成研修で1年間研修)
- 【経営概要】 稲作1ha、りんご30a、大豆30a



東北唯一のセルリー産地を未来につなぐ！

前職の時からJA関係者と接する機会が多く、その時から農家の高齢化や耕作放棄地の多さを感じていました。農業の将来が心配な反面、生産者の減少は逆にビジネスチャンスと思い就農を考えました。

就農にあたって、やまがた農業支援センターから紹介された研修先が山形市のセロリ栽培農家でした。山形市は東北で唯一のセロリの産地で、今まで自分が食べてきたセロリの概念を覆すほどおいしいセロリを生産していました。安全・安心でおいしいものを多くの消費者に届けたいという自分の考えにも合致していました。「JA山形市で新規就農者の受け入れ等を目的に、ハウス団地化のモデル拠点として山形セルリー団地を作るから、そのパイオニアになれ！」と言われ、土地購入やハウス建設の初期投資がないこともあって、ここでの就農を決意しました。

農業は自らが事業主となるため、長いスパンでのビジョン構築ができ、他人にやらされているのではなく自発的に出来るのが魅力だと思います。

今後は、今実践しているスマート農業※を活用しながらより良いものを生産し、またGI(国の地理的表示保護制度)登録を受けたブランド力のある「山形セルリー」を発信していきたいです。農産物がある程度高く売れるシステムを作りながら、品目を増やすなどバランスの取れた農業経営を実践することが目標です。

※スマート農業

情報通信技術(ICT)を活用し、省力化や精密化などを進めた次世代農業。

セルリー団地では、温度・湿度・日照等のデータをクラウドに保存しスマートフォン等で確認し栽培管理に役立てている。

〈これから就農を目指す人へのアドバイス〉

これから農業の形態はどんどん変わっていきます。自分がその担い手になるためにどうしたいのか、どうなりたいたいのかじっくり考え計画性を持って取り組んでください。



一條 克之さん

- 【出身地】 山形市
- 【就農前の職業】 会社役員(衣料品卸売業)
- 【就農地】 山形市
- 【就農年度】 平成28年度
(H26年9月から独立就農者
育成研修で2年間研修)
- 【経営概要】 セルリー27.5a(2作で55a)
【冬季】ほうれん草10a